

都市構造可視化の活用事例

～松戸市に見える化～



千葉県 松戸市 都市計画課

1.はじめに

都市構造可視化の主な使用事例

①新規採用職員への松戸市の概要説明

②立地適正化計画の説明

③課内会議などの資料

2. 新規採用職員への松戸市の概要説明①

都市計画課の新規採用職員へ松戸市の概要を説明する際に活用



- 市の概要や構造を説明
データだけでは分かりづらいことも視覚的に見ることで理解する助けになった。



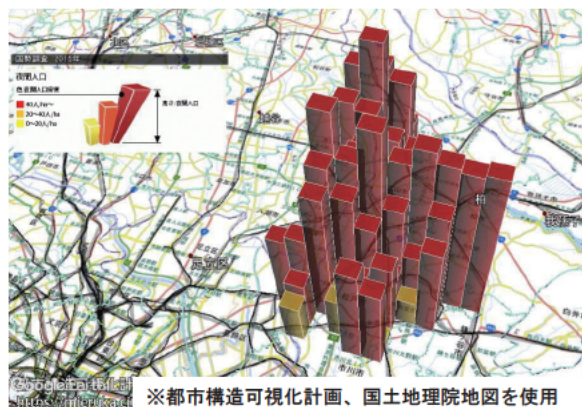
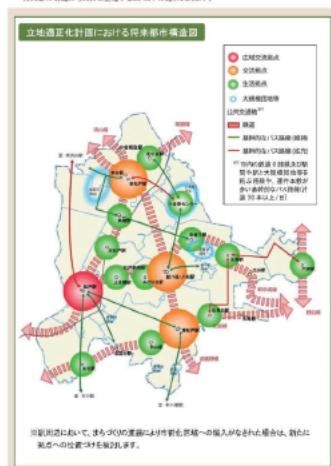
- 実際に操作

3. 新規採用職員への松戸市の概要説明②

計画書に示された都市構造などを理解する手助けに

国土院 国土利用政策部 都市計画課

都市計画課の考え方を整理すると、以下の図になります。

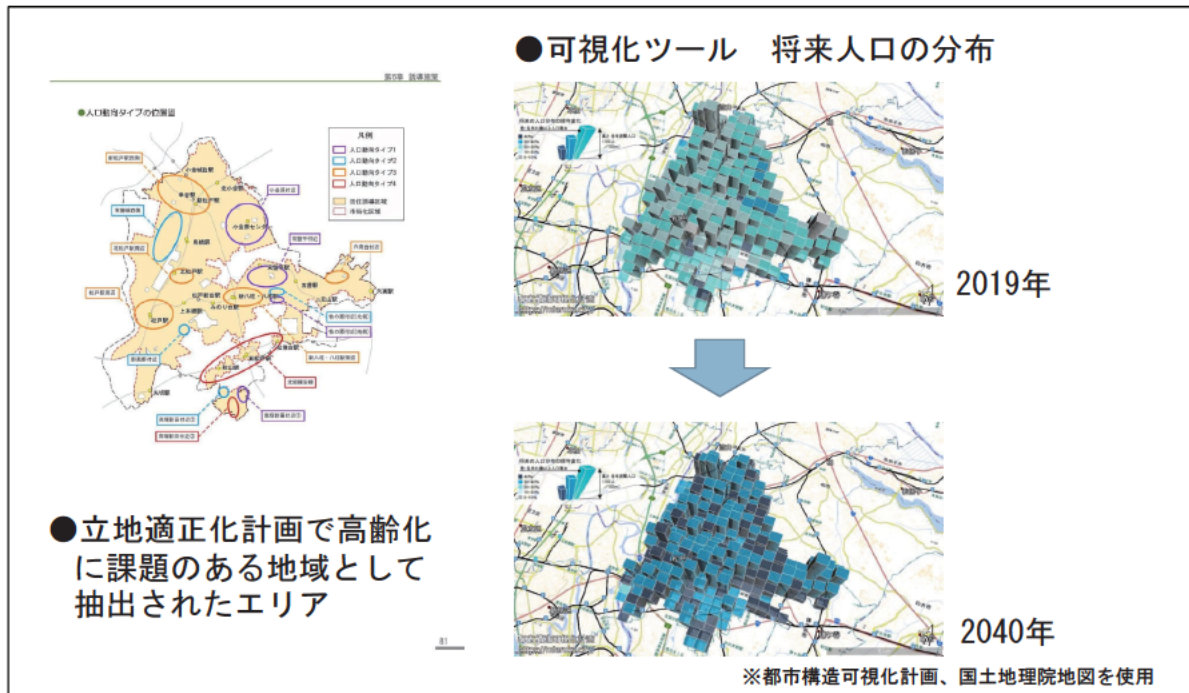


※都市構造可視化計画、国土地理院地図を使用

- 計画書に書かれた内容を、視覚的に見ることが出来る。

4. 立地適正化計画の説明

高齢化の進捗を経年変化として見る事が出来る



i-都市交流会議2020

5

5. 課内会議などの資料

近隣市などと比較がしやすい



i-都市交流会議2020

6

6.まとめ

活用事例を通しての有効性と課題

説明資料としての有効性

- データを視覚的に見ることで直感的に理解することができ、予備知識の無い人への説明などに有効
- GoogleEarthを使用しているため、データから地図やストリートビューへのシームレスな移行が可能

今後の課題

- 活用できるデータの拡張
- 可視化したいデータの機密性

松戸市の概要

都市の紹介



- 人口
492,719人 (R01.12.01現在)
- 面積
61.38km²
- 位置
東京都心から約20km



矢切の渡し



二十世紀梨 誕生の地



重要文化財・名勝
戸定邸